



「話す」  
「聞く」  
「食べる」を

支えるスペシャリスト。

名詞単語の  
想起訓練

文章に当てはまる正しい  
単語を選ぶ課題



仮名文字の  
音読訓練



① 失語症に対する  
リハビリ

失語症に対するリハビリでは  
「ことばがすぐに出てこない」  
「話そうとすると違う音や単  
語が出てきてしまう」「相手  
の話している事が理解できな  
い」といった症状を軽減する  
ために実施しています。

また絵カードを使ったリハビリ  
の他にも、日常生活に即したや  
り通りの練習や話こぼでのコ  
ミュニケーションが難しい方  
にはそれ以外でのコミュニケー  
ション手段（ジェスチャーやイラ  
ストの利用）の検討も行います。

② 構音障害<sup>※</sup>に対するリハビリ

口の体操、音読訓練、発声訓練など

③ 嚥下障害に対するリハビリ

口の体操、アイス綿棒や食物を用いた飲み込みの練習、  
食事形態の検討など

④ 認知症に対するリハビリ

数字盤並べ、見当識訓練、手作業、記憶訓練など

※構音障害 発音が正しくできない症状

書字訓練



その他に  
STが実施する  
リハビリ

音韻配列訓練



文字を並べ替えて正しい単語を  
作り、それを音読する課題



\*写真掲載につきましてはご本人の同意を得ております。

言語聴覚士(ST)

「話す」「聞く」「食べる」といった誰もがごく自然に行われていることが、病気や事故、加齢などの影響により不自由になることがあります。そのようなコミュニケーションや飲み込みに問題

がある方に対してリハビリや支援を行うことのできる専門職(スペシャリスト)です。

